

第28回九州音楽コンクール 電子オルガン部門 審査員プロフィール

電子オルガン部門

久米 詔子

作曲家。ピアノ、エレクトーン、オルガン奏者。作曲を中田直宏、エレクトーンを柳享子、森下絹代、オルガンを吉田實、ピアノを田中美江の各氏に師事。

1989年 第26回エレクトーンフェスティバル全日本大会入賞を機に演奏活動始める。

1992、1995、1999、2008年 リサイタルを開催。2013年より ピティナ・ピアノコンペティション新曲課題曲作品賞を10回受賞。

近年ではバレエやミュージカル等の劇伴演奏家としても全国で活中。

現在、佐賀市にて久米詔子音楽教室主宰。

【表彰】

2007年 国際ソロプチミスト佐賀有明「社会ボランティア賞」受賞。

2009年 第5回佐賀県音楽連盟賞受賞。

2014年 第41回佐賀県芸術文化奨励賞受賞。

2019年 第38回佐賀県音楽協会賞受賞。

2025年 第23回日本歌曲コンクール作曲部門最優秀賞 & 全音楽譜出版社賞受賞。

西岡奈津子

聖徳大学付属高校音楽科、東京コンセルヴァトアール尚美卒業。

新国立劇場、二期会、藤原歌劇団、オペラアーツカンパニーを始めとする様々な団体において、エレクトーンによるオーケストラを務める。文化庁による舞台芸術巡回事業では、全ての都道府県においてエレクトーン伴奏でのオペラ公演を支えた。

'17年、東京・新国立劇場でのワーグナー「ジークフリート」ハイライトでは同劇場で初めて電子オルガン伴奏によるオーケストラを務め、好評を博す。

海外での活動も多く、'04年・客船「飛鳥」アラスカ・ロシアクルーズ、'08・同じく中国・香港クルーズへ演奏者として乗船、'06年には韓国、Spring Art Festival Opera、'08年・韓国 Deadu Opera House 主催 Brunch Opera、'11年、'12年と続けて韓国室内オペラフェスティバルに海外客演奏者として出演。'14年からは毎年 APEKA(Asian-Pacific Electronic Keyboard Association)キャンプにて演奏、指導にあたっている。(日本・中国)'18年、中国黒龍江省国際電子オルガンフェスティバルにて演奏。

クラシックをベースとした活動は幅広く、音源制作や録音、編曲といったスタジオワークも数多い。

作曲や即興を媒体とし、舞踏や映像等現代アートとのコラボにおいて独自の活動を展開、

'08年組曲《カルメン》ピアノソロ編曲版を出版(単著・全音楽譜出版社)、全日本電子楽器研究会によるオペラアリアシリーズでも多数編曲を公開中。

ミックスからマスタリングまで自身で手掛けるスタイルで'20年アルバム《TRINITY》、'24年全曲オリジナルアルバム《Landscapes》リリース。

同アルバム収録曲「Spiral Dance」は世界最大級の作曲コンペ、International Songwriting Competition(ISC)2024 インストゥルメンタル部門ファイナリスト選出、Honorable Mention を受賞。

現在、ヤマハエレクトーンシティ契約プレイヤー、平成音楽大学講師。日本電子キーボード学会(JSEKM)正会員。

米田 郁子

4才よりピアノ、14才より電子オルガン、20才よりドラム、サックスを始める。電子オルガン奏者。電子オルガン講師。ドラム講師。長年の指導キャリアと豊富な実績の中で全国大会出演者を送り出す。また、数多くの教え子も全国で活躍中。近年では、若手ドラマーも育つ。自身の音楽活動では、1990年にSOUND EXPRESSを発足させ演奏活動にも力を注いできた。時にはファンキーに、時にはグルーヴィーに、そして時にはスタイリッシュな演奏表現が真骨頂。

* ホームページ等より引用